

抜管前の経管栄養継続と再挿管率・予後との関連

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

日本版の「重要患者の栄養療法ガイドライン」では、重症患者さんに集中治療室（ICU）入室 48 時間以内に栄養を開始することが勧められています。人工呼吸器管理を使用している患者さんには、鼻から管を入れて栄養剤を流す「経管栄養」という方法で栄養管理を行っています。

本研究では、人工呼吸器を終了し抜管する患者さんを対象に、抜管前に経管栄養を継続した方と絶食管理とした方の間で、抜管後の合併症の発生や生命予後に違いがあるか検証を行います。

この研究では、診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2023 年 4 月～2025 年 3 月に ICU で人工呼吸器管理を受け、経管栄養が開始された方

使用する試料・情報

年齢、性別、人工呼吸器装着期間、経管栄養の投与速度・投与量など

使用開始予定日：2025 年 8 月 21 日

研究予定期間

2025 年 8 月 21 日～2026 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 栄養部 益山優希

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 栄養部 益山優希

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)